

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態	必修		

教科書	実教出版 最新情報 I	副教材等	実教出版 最新情報I 学習ノート
-----	-------------	------	------------------

1 学習の目標

情報と情報技術について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深める。また、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 身に付けてほしい力

○	学びの価値を重んじる思考力		あきらめずに最後までやり通す忍耐力
○	規律やルールを守り、目標を追求する行動力		多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価の方法	○ 考査 ○ 課題等の提出 ○ 小テスト ○ 一問一答	○ 考査 ○ 授業内での実習 ○ レポート	○ 授業への参加態度 ○ ワーク・課題等の提出 ○ ワークシートへの取り組み ○ 一問一答への取り組み ○ 授業の振り返り

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

- ・ ノートを準備する必要はありません。プリントを綴じるためのA4ファイルを渡します。
- ・ 授業で使用するのは、筆記用具、教科書、学習ノート、A4ファイル、Chromebookです。毎回持ってきてください。
- ・ 前期期末考査、後期期末考査の、計2回の定期考査を行います。また、学期の途中に小テストを何度か実施する予定です。
- ・ 教科書の単元・節ごとに「授業の振り返り」と「一問一答」のFormを配信します。必ず回答し提出してください。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	オリエンテーション	・ 共通教科「情報」で何をまなぶのかについて理解する。 ・ 1年間の情報の授業の流れについて理解する				
	5	第1章 情報社会	・ 情報社会と情報の特性について理解する。 ・ 情報のモラルと個人に及ぼす影響について理解する。 ・ 知的財産権とその利用について理解する。 ・ 個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。	ワークシート 実習課題 考査	○	○	○
	6	情報社会の法規と権利	・ 知的財産権とその利用について理解する。 ・ 個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。				
	7	第2章 情報デザイン	・ メディアの発達と特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 ・ コミュニケーションの形態とインターネットでのコミュニケーションについて理解する ・ 社会の中の情報デザインとその工夫について理解する。 ・ 文書を作成するための手順・作法を理解し、目的に応じた文書を作成できる。	ワークシート 実習課題 考査	○		○
	8	第3章 情報システムの構成	・ コンピュータの構成とソフトウェアについて理解する。 ・ アナログとデジタル、2進数と情報量について理解する。 ・ 数値、文字、音声、静止画、動画をデジタル化する方法を理解する。 ・ 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。	ワークシート 小テスト 考査	○	○	○
		情報通信ネットワーク	・ 情報通信ネットワークの構成とプロトコルについて理解する。 ・ Web ページやメールの仕組みについて理解する。	ワークシート 考査	○	○	○
	10	第4章 情報セキュリティ	・ 情報セキュリティの確保や安全のための技術について理解する。				
	11	第5章 問題解決データの活用	・ 問題解決の手順について理解する ・ データ収集・整理の方法について理解する ・ 表計算ソフトウェアを用いてデータの処理・加工・データの可視化ができる ・ データベースの種類とその仕組みについて理解する。	ワークシート 実習課題 考査	○	○	○
後期	12	モデル化シミュレーション	・ モデル化の種類と手法について理解する。 ・ シミュレーションの意義について理解し、確率的モデルのシミュレーションを行える。				
	1	第6章 アルゴリズムとプログラミング	・ アルゴリズムと基本制御構造について理解する。 ・ プログラミングの手順と使用する言語の種類やその特徴について理解する。 ・ 3つの制御構造についてその特徴を理解し、簡単なpythonのプログラムを記述できる。	ワークシート 実習課題 考査	○	○	○
	2						

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度